

医療事故情報収集等事業 第 52 回報告書のご案内

1. 集計報告

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業（対象：2017 年 10 月～12 月に報告された事例）

表 1 報告件数及び報告医療機関数

	2017 年			合計
	10 月	11 月	12 月	
報告義務対象医療機関による報告件数	297	381	305	983
参加登録申請医療機関による報告件数	64	32	36	132
報告義務対象医療機関数	277	277	276	—
参加登録申請医療機関数	768	771	773	—

(第 52 回報告書 11～14 頁参照)

表 2 事故の概要

事故の概要	2017 年 10 月～12 月	
	件数	%
薬剤	80	8.1
輸血	1	0.1
治療・処置	248	25.2
医療機器等	18	1.8
ドレーン・チューブ	74	7.5
検査	38	3.9
療養上の世話	420	42.7
その他	104	10.6
合計	983	100.0

(第 52 回報告書 15 頁参照)

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業（対象：2017 年 10 月～12 月に報告された事例）

1) 参加医療機関数 1,215（事例情報報告参加医療機関数 648 施設を含む）

2) 報告件数（第 52 回報告書 18 頁参照）

①発生件数情報報告件数：228,119 件

②事例情報報告件数：7,250 件

2. 事例の分析（第 52 回報告書 21～52 頁参照）

今回、「分析テーマ」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- (1) 集中治療部門のシステムに関連した事例 【第 52 回報告書 22～31 頁参照】
- (2) 腎機能が低下した患者への薬剤の投与量に関する事例 【第 52 回報告書 32～42 頁参照】
- (3) 開放式のドレーンチューブの体内への迷入に関連した事例 【第 52 回報告書 43～52 頁参照】

3. 再発・類似事例の分析（第 52 回報告書 53～76 頁参照）

これまでに、「共有すべき医療事故情報」や「個別のテーマの検討状況」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回、「再発・類似事例の分析」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- (1) 「未滅菌の医療機器の使用」 【第 52 回報告書 58～67 頁参照】
(医療安全情報 No. 19: 未滅菌の医療材料の使用)
- (2) 「調乳および授乳の管理に関連した事例」 【第 52 回報告書 68～76 頁参照】
(第 38 回報告書)

*詳細につきましては、本事業ホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。